

お金があれば〇〇を無限に買うことができる

うめです。

よく「自己投資が大事です！」みたいなことが頻繁に言われる。

みんなも聞いたことがあると思う。

「あーはいはい。」

「自己投資ね。知ってる知ってる。」

と思うかもしれない。

だが、もしそう思ったのなら要注意。

そもそも、

この資本主義の世の中において、

- ・どんなホームレス的な生まれで
- ・自己資本0円からのスタートだとしても

20歳を超えて1年以上経って、

「年収1千万を超えてない」

「1年で10人以上の異性からモテる」

ということが達成できてないとしたら

全員「自己投資が下手」です。

まず、

「自分はお金の使い方が下手なんだ。」

ということを自覚する必要があります。

よくある、

「だから僕の教材を買いましょう～」

的な話じゃない（笑）

例えこのレポートを読んだ全員が、

僕の教材は買わなくなっても、

僕は特に困らない。

ちょっと強い言葉を使ったので、
抵抗がある人は、

「もしかしたら、
今の自分の願望が叶っていないのは
お金の投資が下手くそだからなのかも？」

と、考えてみて、
続きの話を読んでみて欲しい。

おそらく、
あなたの人生を変える
勉強にはなると思う。

で、前置きはこのくらいにして、
今日は「お金」について話していく。

=====

なぜ自己投資が大事なのか？

=====

一体、
なぜ自己投資が大事なのか？

そもそも僕たちは
お金で何を買っているのか？

あなたが、お金を使う時、
その対価として
「何」を買っているのだろうか？

ちょっとこの3日間くらいで
お金を使ったシーンを
思い出してみたい。

「外食代」
「スーパーで食料品代」
「水道代」
「ガソリン代」
「電気代」

「ケータイアプリ代」
「エッチなDVDレンタル代」
「おしゃれなバッグ代」
「勉強するための教材」
「性的サービス店での料金」
「洋服代」
「旅行代・交通費」

etc.

ここであなたもちょっと
考えてみてほしい。

そもそもお金を使うことで
僕たちはいったい
「何」を買っているのだろうか？

たとえば、、、

「生きていくために必要なもの？」

いや、ヴィトンのバックや
A V動画など必要ない(笑)

食べ物やガス水道ならわかるが、
ヴィトンのバックはなくても生きていける。

「価値を買っている？」

なるほど。
だとしたらその価値の本質はなんだろうか？

男性が行く性的サービス店は
多くの女性にとっては価値ゼロだ。

可愛い写真を見て指名して出てきたのが
70歳過ぎたおばあちゃんだったら、
多くの男性にとってもおそらくマイナスの価値だろう。

じつは、このように手に入れる
「価値」にだけフォーカスしてお金を使っていると
トータルの利益が小さくなってしまう。

この戦略だと、
トータルのプラスが大きくなるらないのだ。

もう少し考えてみよう。

僕たちはお金を使って、
何を買っているのだろうか？

もしかしたら、、、

「感情」

マーケティングや自己啓発を
学んできてる人は

「人は感情が欲しくてお金をつかう」
と考えるかもしれない。

だとしたら次のケースはどうだろう。

たとえば、
性的サービス店に行って
おばあちゃんが出てきた男性は

高度に修正された写真を見て、
ウキウキとエッチなことを想像して、

「70歳の女性が、エロい下着姿で出てきたがっかり感」と、
「それでも射精させられてしまった敗北感」
という感情を買ったことになる。

本当に「感情」を買うために
お金を払っているのだろうか？

「感情を得るためにお金をつかう」
という世界観でも、

「価値を得るためにお金をつかう」
ときと同様だ。

「本当にこれで欲しい感情が得られるのか？」
「欲しい感情が得られなかったらどうしよう？」と

1回1回のチャレンジにこだわるあまり、
失敗を恐れて、チャレンジの数が減って、
トータルでの利益が頭打ちになってしまう。

「お金で何を買ってるのかの答えが想像つきません」
「うめさん早く教えてください」
「もったいぶりすぎです」

そんな急かさないでください。
急かす男は女の子に嫌われてしまいます。

重要なことを言うので、
ここから先は、深呼吸をして、

よければ水をコップ一杯飲んで
覚醒してから読んでみてほしい。

僕たちは実際に、
お金を払って何を買っているのだろうか？

↓

↓

↓

=====

僕たちは「時間」を無限に買える

=====

お金を払って僕たちが買っているもの。

その本質は「時間」。

「ああ、確かに」

と言う前に、一度、
ひとつひとつ丁寧に想像してほしい。

時間を「節約」するのではない。

文字通り、お金で時間を「無限に」買えるのだ。

仮にあなたが
100歳まで生きるとしよう。

1日24時間で、
1年で365日と仮定して、
それが100年。

$24 \times 365 \times 100 = 87600$

僕たちが
お金を使わない場合に使える時間は
87600時間だ。

この
87600時間を使って、

僕たちは、自分の

- ・やりたい体験
- ・得たい感情
- ・欲しい人間関係
- ・欲しい物

を手にしていくんだ。

=====

たとえば、食事に関して。

=====

材料の植物の種を探して植えて、
育てて、収穫して。

動物を飼育して、
屠殺して、加工して。

料理について上手な人に教えてもらって、
練習して。

食器や調理道具も、
ひとつひとつ自分で材料を手に入れて、
加工して準備して。

すべてを自分でやろうと思えば、
時間をかけさえすれば、
ひとつひとつの手順で
物理的に超えられない壁はないはず。

その時間をかける代わりに、
お金を払って、結果だけを
受け取っているわけだ。

なので、注文した料理がマズいから
「失敗した！」
とか思うかわりに、
さらに仮説検証を続けていけばいいわけだ。

「なるほど、この人から料理の時間を買っては損なんだな。」
「じゃあ次からは買わないように気をつけよう」

「なるほど、この人からは料理の時間を買うのは得だな。」
「じゃあ次からはこの人から買ってどんどんプラスにしよう」

という「時間の買取がうまくいくか？」
の仮説検証。

=====

たとえば、性的サービスに関して。

=====

ほかにたとえば、
性的サービス店について。

魅力的に感じる異性が多い
職場や学校に参加して、

自然と接触機会が増えて
親密さが生まれる状況に持ち込んで。

自分の魅力を最大化するために
ボディランゲージや服装や
会話の内容をトレーニングして。

その上で、相手の女性のサポートによって、
尿道を精子が出て行く感覚を得られるまで、

ひとつひとつの手順で
物理的に超えられない壁はないはず。

けれどその時間をかける代わりに、
お金を払って、結果だけを受け取っているわけだ。

性的サービス店で支払うお金は
「60分間で受けるサービス」
に対してではなくて

「自分で人間関係を作って、
コミュニケーションスキルを高めることで
女性相手に射精をする」

ということに費やす
「時間」を買っているわけだ。

なので、もし払った対価に
見合わないと感じたときには

「写真詐欺だ」「地雷だ！返金しろ」
と騒ぐ代わりに

検証の時間を買ったと思って、
次に活かせばいい。

つまり、
もし性的サービス店で不満を感じたなら、

次から性的サービス店を利用するときのルールを磨くか

そもそも
直接コミュニケーションするためのスキルを向上する
仮説検証を続けていけばいい。

=====

たとえば、教材やコンサルティング選び

=====

ほかにもたとえば、
教材やコンサルティングサービスを
買う時に関しても同様。

自分で何かの分野の関連書籍や
資料を収集して、

分析して整理して、
実際に実行して、
うまくいくかどうかのテストをして

「この条件ならこれがうまくいく」
といった具合に
何かの結論を出すようにすれば、

ひとつひとつの手順で
物理的に超えられない壁はないはず。

日本だと、全ての出版物は
国立図書館にある。

全て書籍に纏まってる知識であれば
全てあなたは無料で読むことが出来るし、

書籍になってない知識であれば
その知識を持ってる人と仲良くなることで
手に入れることは可能だ。

手に入れた後に、
自分で検証することで、
教材やコンサルティングサービスで得たかった
結果を手にするにはできる。

もちろん、
ひとの一生の時間は有限なので

生きている間に
たどりつけないとは限らないが、

無限に時間をかけられるならば、
すべてあなたにもできるはず。

けれどその時間をかける代わりに、
お金を払って、
結果だけを受け取っているわけだ。

教材や本に払うお金は
そこで得られる「情報や経験」に対して
ではなくて、

自分で調べてレポートをつくるための
「時間」を買っているということ。

なのでもし
「払っただけの価値がない」と感じた時は、

「役に立たない」「損した」

と騒ぐ代わりに
「情報を仕入れるときのルール」を磨くために
仮説検証を続けていけばいいわけだ。

=====

お金を使うということの本質

=====

このように
「お金をつかう」ということを考えると

理論的に、無限の「時間」を買うことが
できるのがわかると思う。

お金は、資本主義の性質上、
無限に稼ぐこともできる。

お金を失っても、
その何100倍稼ぐことは可能。

まず、この
「お金」に対する理解をして欲しい。

時間=あなたの欲求を叶える為のチケット
お金=時間を無限に買うことができる

=====

魅力の買い方は女性の方が上手い

=====

で、
ここからが本題なのだけど

このお金という
「時間を無限に買える権利」

の使い方が下手だと、

お金も稼げないし、
異性にもモテない。

いわゆる「名経営者」というのは
お金を使って人を助けるのが上手な人だ。

自分で服を作るより、
ユニクロの柳井社長にお金を渡した方が
自分が欲しい服を作ってくれるから

あなたはユニクロにお金を渡し、
ユニクロはお金が集まるんだ。

だから、
お金を稼ぐのが上手になりたければ、

- ① お金を使って、誰かの悩みを解決するのが上手になっていくこと
- ② ①が上手だと周りに認知させるのが上手になること
のが一番早い。

だから僕は、
「誰かの悩みを解決する知識」はどんどん買う。
「それを誰かに伝える知識」もどんどん買う。

その基準でお金を使うので、
100万円の教材を買っても、
そこから1000万円生み出すことが出来る。

無一文になっても、
知識とスキルがあるので、
何度でもお金を生み出せる。

ちょっと余談だった。
で、異性にモテるというのも同じ。

要は、
モテる女というのは

**男性の欲求を叶える為の
お金の使い方が上手いんだ。**

もちろん、意識してるのではなく
無意識にやってる部分が多いだろうが。

男が見てて気持ちがいい服装
男が見てて気分が上がるメイク
男が見てて気持ちがいい会話術

こう言ったものに対して
無意識のうちに彼女たちは
自分の時間とお金を投資する。

それこそ、
男が見てて気持ちがいい顔になる為だったら

数十万円はポンと支払う。

毎月3~4万円は当たり前
使い続ける。

そこにあまり抵抗がない。

だから彼女たちは、
結果的にモテやすい。

そういった習慣を持っている子が
結果的に男性にモテている。

嘘だと思ったら、
調べてみるといい。

モテる女性のお金の使い道。時間の使い道。
モテない女性のお金の使い道。時間の使い道。

きっとあなたのヒントも見えてくる。

=====

モテるようになりたければ、魅力の買い方を磨けばいい

=====

で、
様々なモテるようになりたい男性と
接する機会が多い僕からみて

モテない男性というのは
このお金の使い方が下手くそだ。

女が見てて気持ちがいい服装
女が見てて気分が上がる髪型、眉毛
女が話してて気持ちがいい会話術
女がワクワクする体験・知識
女が将来を期待してしまう人格

こういった、いわゆる
(女性から見た) 自分の魅力を上げるものに
あなたがお金と時間を使う割合はどれくらいだろうか？

ゲーム
アニメ・漫画
車
趣味の何か
貯金

こういった、いわゆる
女性が性的魅力を感じないものに
あなたがお金を時間を使う割合はどれくらいだろうか？

こういった
あなたの趣味の活動にお金を投資することが
悪いと言ってるのではないので注意して欲しい。

自分の投資の配分を
一度見てみて欲しいということだ。

女が見てて気持ちがいい服装
女が見てて気分が上がる髪型、眉毛
女が話してて気持ちがいい会話術
女がワクワクする体験・知識
女が将来を期待してしまう人格

特に、これらは一度手に入れてしまえば
そこまで維持費はかからない。

何度でも使い続けることができる
知識とスキルたちだからだ。

そして、
「女性にモテる」ということにかかる時間を
一気に買うことができる。

これらを手に入れて、
女性が欲しがってる魅力を手に入れてから、
あなたの今使ってる趣味にお金を使う場合と

今あなたが使ってるお金の使い方を続けて、
「まあなんかチャンスが来たら魅力に投資します」
というお金の使い方。

どちらの方が、
あなたの欲求を満たしやすいかは、
一度シミュレーションしてみることをオススメする。

今日は、
「お金の使い道が下手」なことで、

いつまでもモテない人に見受けられたので
その人たちに向けて心からのメッセージを書いた。

あなたの人生を今よりも
より豊かにするきっかけになれば幸いです。

ps.
レポートの感想はメールに返信する形でお願いします。
いつもみなさんの感想や質問は、ありがたく読んでいます。

受け取り手のあなたがいるから、
僕はこうしてメッセージができています。
いつもありがとう。